

# イデックスオイルレポート ~For a month~

(株)新出光

## 【月次概況】

●第1週、11/1のWTI原油は、先週比2.29ドル安の69.49ドルとなった。  
中東情勢の行方に注目が集まる中、イスラエルによる報復攻撃を受けたイランが、数日以内に再報復するとの見方が広がっている。一方、イスラム教シーア派組織ヒズボラは10月31日、イスラエル北部をロケット弾で攻撃。これに対する報復として、イスラエル軍はヒズボラが拠点を置くレバノンの首都ベイルート南郊を11月1日にかけて空爆した。

●第2週、11/8のWTI原油は、先週比ドル0.89高の70.38ドルとなった。  
米メキシコ湾岸の石油精製施設の一部はハリケーン「ラファエル」の接近に備え、施設の稼働を停止し、従業員の避難を始めていた。ただ、米国立ハリケーンセンターは、ラファエルの進路が施設が集積する地域から遠ざかり、8日から週末にかけて勢力も弱まるとの見方を示した。

●第3週、11/15のWTI原油は、先週比3.36ドル安の67.02ドルとなりました。  
中国国家統計局が15日発表した10月の鉱工業生産は前年同月比5.3%増と、伸びが前月(5.4%増)から減速したほか、市場予想(5.6%増)を下回った。10月の同国石油精製量も4.6%減と低調な内容となった。これを受け、エネルギー消費大国である中国の需要減退への警戒感が高まり、原油は売りが優勢となった。

●第4週、11/22のWTI原油は、先週比4.22ドル高の71.24ドルとなった。  
ロシアのプーチン大統領は22日、新型の極超音速中距離弾道ミサイル「オレシニク」の戦闘におけるテストを継続すると表明した。バイデン米政権がウクライナに供与した長距離兵器によるロシア本土攻撃を容認し、西部2州に19日以降、米英のミサイルが撃ち込まれた。

●第5週、11/29のWTI原油は、先週比3.24ドル安の68.00ドルとなった。  
イスラエルとレバノンのイスラム教シーア派組織ヒズボラの停戦が27日に発効したが、イスラエル軍は28日、レバノン南部にあるヒズボラの関連施設を同日に空爆したと明らかにした。両者は互いの停戦違反を主張していることから、停戦合意の履行について不透明感が拡大。

	11月平均	WTI原油	69.53ドル	前月比	-1.99ドル	為替 1ドル	154.85円	前月差	4.16円
--	-------	-------	---------	-----	---------	--------	---------	-----	-------

日付	補助金	変動幅	変動幅
11/1~11/6	16.7	+0.5	+0.5
11/7~11/13	14.9	-1.0	-1.0
11/14~11/20	16.4	+1.5	+1.5
11/21~11/27	14.5	-1.5	-1.5
11/28~11/30	16.3	+3.0	+3.0

メニュー価格推移	ENEOS LS船用燃料油基準価格		
	2024年7-9月C重油決定価格	100.600	102.600
	2024年10-12月C重油決定価格	88.570	90.570
	決定価格7-9月比		
		0.5HPP	(100.600(メニュー)+ 2,000(プレミアム))
			(88.570(メニュー)+ 2,000(プレミアム))

内航燃料油価格推移	適合C重油		A重油
	2024年7-9月C重油決定価格	108,000	108,600
	2024年10-12月C重油決定価格	95,970	
	決定価格7-9月比		

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格 円/kl	通関CIF ドル/bbl	為替レート 円/ドル	原油CIF価格 前月比
	24/10	9桁速報	73,474	80.09	145.85	-1.667
	24/11	最終予測	73,948	76.93	152.82	474
	24/12	展望	71,106	76.38	148.00	-2.842
	25/1	展望	69,236	75.91	145.00	-1.870

## 【次世代エネルギー】トヨタ、水素エンジン商用車をHV化 航続距離25%増

トヨタ自動車は16日、気体の水素を燃料とするエンジンに加え、モーターも動力源とするハイブリッド車(HV)を試作したと明らかにした。1回の水素充填で走る航続距離を、従来のエンジン車と比べて25%増の約250キロメートルまで伸ばした。温暖化ガスの削減に向けて、水素の普及へ備える。

サーキット「富士スピードウェイ」(静岡県小山町)で16日、試作車を報道陣へ公開した。トヨタは水素エンジン車の市販化を目指しており、16~17日開催の耐久レースでも液体水素車を出走させる。

気体水素のエンジンを搭載するHVは商用車「ハイエース」をベースとする。床下にHVのシステム、助手席部分へ電池を搭載する。走り始める際の加速にモーター駆動を用いて燃費効率を高め、航続距離を約200キロメートルから約250キロメートルへ伸ばした。2025年春にもオーストラリアの公道で走行実証することを目指す。同じエンジンだけで走るハイエースでは23年10月から同国・メルボルン近郊で実証している。建設・警備企業による運行で、航続距離が課題となっていた。一方で助手席を取り外しているため、乗員定員は12人から11人へ減少する。積載量も縮小する。商用車の用途を考慮すると課題となる。

トヨタは水素と酸素の化学反応で走行する燃料電池車(FCV)も展開している。FCVは純度の高い水素を用いなければならないが、エンジンで燃焼させる水素はそれほど高い純度でなくても済むという。安価な水素を使える可能性がある。

トヨタは電気自動車(EV)も含めて環境車を幅広く取りそろえる戦略を掲げる。豊田章男会長は16日、「市場とお客さんが一番いいものを選ぶ。多くの選択肢を提供すべき」と話した。また水素の普及に向けて「課題はスピード感」と指摘した。

出典:日経電子版 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOFD157YR0V11C24A1000000/>

## 【12月価格変動要因】

●需給: 目下話題はトランプ次期政権において方針が示されている①関税施策、②財政拡張、③原油増産、の3点。

①関税施策については、中国等に対して高関税を賦課する事で貿易取引の減退に繋がらう事、米企業が高関税分を販売価格に転嫁する事でインフレ圧力に繋がらう事から原油相場に対してはネガティブに働かざるを得ない。

②財政拡張については、財政赤字幅の拡大に伴い米国債増発が想起され、国債需給の緩和・金利上昇が考えうる。自然ドル高圧力として働く事でドル建資産の原油にとってはドル調達コストの増大に繋がり、ネガティブに働かざるを得ない。

③原油増産については、財務長官に指名されたベッセント氏が掲げる「3-3-3」において3MBDの米原油増産が謳われている。素直に捉えれば原油需給の緩和に繋がり、同様にネガティブな材料となる。

●地政学: ウクライナ紛争においては①北朝鮮によるロシアへの兵士派遣含む軍事支援の開始、②英米製ミサイルによるロシア領内攻撃の許容・初攻撃、③ロシアによるウクライナへの報復攻撃、と続いている。ロシア・北朝鮮はクルスク州における反転攻勢を強めており、英ロイターによれば同州の4割をロシア側が奪還したと伝わっている。

●リスク資産・金融市場: トランプトレードに伴う金利上昇・ドル高が相場の重し。ただ、共和党内に財政緊縮論者も一定数存在する事を踏まえれば、合意形成には相当の時間を要すとも考えられる為、行き過ぎたドル高は是正される可能性がある。

### <1ヶ月価格見通し> (単位: US/bbl)

	Brent	WTI
High	77	73
Average	72	68
Low	68	63

### <3ヶ月価格見通し> (単位: US/bbl)

	Brent	WTI
High	79	75
Average	73	69
Low	67	64

日付	国	12月経済指標カレンダー	日付	国	12月経済指標カレンダー
2	米国	11月ISM製造業景況指数	13	日本	10-12月期日銀短観・四半期大企業製造業景況判断
4	米国	11月ADP雇用統計	17	米国	11月小売売上高
4	米国	11月ISM非製造業景況指数(総合)	17	米国	11月小売売上高(除自動車)
4	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、発言	18	ユーロ	11月消費者物価指数
6	ユーロ	7-9月期四半期域内総生産(GDP、確定値)	18	ユーロ	7-9月期四半期域内総生産
6	米国	11月非農業部門雇用者数変化	18	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表
6	米国	11月失業率	18	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見
6	米国	11月平均時給	19	日本	日銀金融政策決定会合、終了後政策金利発表
9	日本	7-9月期四半期実質国内総生産(GDP、改定値)	19	日本	植田和男日銀総裁、定例記者会見
11	米国	11月消費者物価指数	19	米国	7-9月期四半期実質国内総生産(GDP、確定値)
12	ユーロ	欧州中央銀行(ECB)政策金利	20	米国	11月個人消費支出(PCEデフレーター)
12	ユーロ	ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見	24	米国	11月新築住宅販売件数